

22 回ふれあいトーク

(高岡流おもてなし Part I ～ホテル・旅館業の視点から～) 会議記録

- 1、日 時 平成 26 年 2 月 5 日（水） 午後 3 時から 4 時
- 2、場 所 ウイング・ウイング高岡 6 階 特別会議室 605
- 3、出席者 20 名

高岡市ホテル旅館組合 9 名

市長、観光交流課長、観光協会、広報統計課長

4、会議次第

- (1) 市長挨拶
- (2) 出席者紹介
- (3) 意見交換

意見交換

参加者

- ・ 現在高岡のホテル・旅館は 13 社あり、駅周辺のベッド数は 1500～1600 である。かつてはものづくり、商業のまちとして滞在型宿泊施設として営業してきたが、経済状況の変化などにより、ホテル・旅館の数が減少している。
- ・ 高岡に温泉がないので、高岡のホテル・旅館は、都市型観光客をターゲットに、地元の美味しい食事を提供したり食事どころを紹介している。また、県下で一番早く組合のHPを立ち上げ、ネット予約、W i F i 整備、中国人をターゲットにした銀聯カードも含めた各種カード決済など、各種の機能を充実させている。安心・安全で便利に利用できる宿泊施設にするため、警察、消防、保健所とも定期的に打ち合わせを行っている。宿泊施設のほとんどが現駅から徒歩圏内にあり、遠い所は送迎をおこなっているうえ、ほとんどが宿泊者用の駐車場を持っている。
- ・ 現在、県が実施している朝ごはんプロジェクトに市内では 3 社が参加し、おいしい富山米、富山の水、地元食材を使った統一のおかず 1 品を提供しているが、長期滞在客が多いホテル・旅館では、同じおかずを毎日出せないため、独自に昆布朝ごはんプロジェクトとして、高岡の食材や水と昆布を利用した朝ごはんを提供し、美味しい地元の朝ごはんが食べられるという話題づくりを考えている。また、高岡コロケが日本一に選ばれたことから、コロケを夕食に取り入れることも考えている。
- ・ 他業界との連携として、各旅館やホテルのフロントで、万葉線㈱の協力を得て作成するドラえもん電車のグッズセットや商工会議所青年部のグリーンラーメンを配置・販売し話題づくりをしていく。
- ・ 市内の寿司屋と連携して富山湾寿司と宿のセットプランを作り、インターネット予約サイトに登録できないかと考えている。
- ・ 「地酒で乾杯 たかおかで飲み歩き！」イベントであった 1000 円で地酒とつまみがセットになった居酒屋セットメニューの提供が継続的にできれば、宿泊客に安心

して紹介できる。できれば宿と連携して行いたいと考えているが、居酒屋は組合がないため、一件ずつ店舗との交渉になる点が難しい。

- ホテル・旅館では、裏面に共通の地図を掲載したパンフレットを作っている。高岡駅現駅や新幹線新駅や高速道路の整備に伴い、地図も新しく更新する予定である。
- 高岡のホテル・旅館は現駅周辺にあるため、新幹線開業後は新幹線新駅から各ホテルを巡回する送迎バスルートを作ってほしい。
- 各種団体の全国大会等を高岡で開催するためには、郵便を送ったりという諸手続きが大変であるため、高岡での会合開催につながらない。400 人以下の小規模な会合であれば、高岡で受け入れ可能であり、この規模の手続きに必要なスタッフは1～2人程度である。観光協会の名称を「高岡コンベンション観光協会」に改名し、コンベンション誘致に力を入れてほしい。
- 白川郷や五箇山には観光客が溢れており、高岡への誘致に力を入れたい。
- ホテルや旅館は水を多く使うため上下水道料金の支援をしてほしい。
- 固定資産税の軽減が平成 27 年度の評価替えに導入されることとなった。評価替えの際は、よろしく願いたい。
- 耐震化促進法による耐震調査が必要な建築年数のものは当組合員の建物にはない。災害時には宿泊などの支援を行うことができるので、災害時支援協定について検討してほしい。
- ビジネス客が減ってきており、企業誘致を行ってほしい。業界としても、できることがあれば取り組みたい。
- 現駅東地区の開発の際はコンベンションホールや、会議場の誘致をしてほしい。

市長

- W i F i 等のインターネット環境やカード決済などは、宿泊客としては必要な要件となってきた。
- 外国人客の受け入れは、語学の面で不安があるだろうが、定型文のカードを作っておいたり、通訳の電話サービスと契約して置くことも考えられる。また、台湾の観光客誘致に取り組んでいる地域から聞いた話では、台湾の旅行会社は、中国語で医者にかかることができる環境を旅行先に望んでいるとのことだった。
- 企業誘致や投資促進も含めて頑張っていきたい。
- 選ばれる宿になるためには、おいしい食事があるという評判が有効であり、独自の朝ご飯の取り組みについては良いと思う。また、夕食を提供しないところでは、夕食どころの情報提供や飲食店との提携などは大切であり、市や観光協会でも宿と飲食店のマッチングの機会を作るなどの協力はしていくので、業界同士でも連携してほしい。
- 巡回バスについては、コースなど検討が必要だと思うが、相談して行きたい。
- コンベンション誘致は、自分の関わる団体が持つ情報を誘致につなげることが大切。誘致のための必要なスタッフの捻出などを、業界と市や観光協会で話し合いながら、相談していきたい。

- 白川郷や五箇山では民宿数が少ないため麓に下りて泊まる客もいると聞く。そういう客を高岡での宿泊に繋げる方法方もあり、市としてどう協力できるか考えていきたい。
- 平成 27 年度の評価替えに伴う固定資産税の制度については、勉強していきたい。
- 宿泊施設との災害時の協定については行わなければならないと考えている。
- コンベンション誘致については、高岡ならどんなコンベンションが誘致できるかをリストアップしておく必要がある。開催の際にホールやセミナールームの手配、会場の組み合わせや、シャトルバスの手配など、どんなことができるかマニュアル化し、「見える化」しておく必要がある。

参加者

- 宿と連携した居酒屋セットメニューはあると良いと考えている。観光協会では、年 1 回、昼と夜の食べ歩きマップを作成しており、次回の照会の際には、ワンドリンクサービス券を作りサービスの提供をすることが可能かという調査もしていきたいと考えている。ただし、一律の調査になることから、宿泊業界が希望する飲食店を選定し宿とのセット販売を検討する場合には、宿泊業界が直接、飲食店と連携を図る方が良いとも考える。
- 観光協会の改名は、名称の変更に伴う様々な諸経費も伴うことから、計画的に考えていきたい。
- コンベンションを手伝うスタッフについては、県のコンベンションビューローで当日の受付等のスタッフを手配するサービスを行っているので、観光協会にコンベンションを希望する話があれば、県のコンベンションビューローを紹介している。
- 高岡市ではコンベンション開催に対する助成を行っているが、県でも同様の助成制度を持っており重複して使えないなどの要件がある。どの助成制度の利用が良いかなど、具体的に相談に乗ることができるので、相談してもらいたい。

市長

- それぞれの宿によって、対象としている客層が違うと思うが、修学旅行の受け入れについてどう考えているか。

参加者

- 高岡にあるホテル・旅館で修学旅行を受け入れ出来る規模のものは 2 社しかないが、価格面で受け入れは難しい。高岡で修学旅行の受け入れるならば、二上まなび交流館などで宿泊し、高岡で体験学習をするなどできると思うので、良いとは思う。旅館を分散しての受け入れも可能だが、最近はそのようなことをする学校はない。一方、学校同士の交流会や研修会などの小規模の受け入れは十分可能で、スポーツ団体の受け入れは現在も盛んに行っており、スポーツ団体に合わせた価格の設定やノウハウも十分ある。

市長

- コンベンションは、ツアーとして大々的に行うものに限らず、小規模な研究会やミーティングなども該当する。俳句の会などの小さいコンベンションと万葉歴史館と

の組み合わせなども考えられるのではないかな。

参加者

- 高岡は、金沢や富山ではなく高岡らしさを打ち出すべきで、歴史都市として高岡の資産を洗い出し、専門家の意見を聞いてルートづくりをし、高岡らしさの楽しみ方を打ち出すべきだと考える。

市長

- 個人的な考えだが、町屋の協力を得ながら、町屋の座敷を借りて郷土料理を振る舞うなどして、高岡らしい楽しみ方の提供はできないかと思う。

参加者

- サービスを提供する側の考えを押し付けるのではなく、客の望みを考えることは大切。無理に背伸びをせず、そのままの高岡を出すのがよいという声も聞いており、高岡らしい朝食の提供などに取り組んでいる。

参加者

- 来訪者が参加できるイベントを開催してはどうか。仮装や化粧など参加型のイベントを行い、泊って参加してもらってはどうか。

市長

- コスプレイベントなどは人気があるようだ。

参加者

- あみたん娘のイベントなどでは、コスプレイヤーと、それを撮影しにくるカメラマンなどが集まったりしている。そのほか、高岡では、万葉線や氷見線で各種ラッピング電車も走っており、高岡に来て高岡を楽しんでもらいたい。参加型のイベントとしては、万葉まつりや、ねがいみち駅伝などもやっている。

参加者

- かつて高岡にはものづくりに携わる作業員の需要があり、安価に長期滞在する2食付きの滞在型の宿泊施設が発展してきたが、時代の流れとともに、作業員の宿泊は減少している。1泊2食付きで安価な料金の宿の新たな客層として考えられるのが、小、中学生の合宿や部活の遠征である。小中学校の遠征を受け入れている実績もあり、50名以上の要件を満たせば、コンベンション補助金を使えることを、小中学校の先生に紹介すると大変喜ばれる。高岡は竹平記念体育館や新たに建設している西部総合公園など良いスポーツ施設が多い。今の小中学生がちょうど東京オリンピックの主力となる世代であることから、先生方も指導に力が入っている。もっと小中学校の先生向けにコンベンション補助金制度をPRすることで、積極的な合宿誘致ができるのではないかな。

市長

- 高岡の先生に制度をPRし、先生同士の交流によってPRしてもらおうよう検討したい。東京オリンピックの開催に向けて、人材養成やプレ大会開催、各国からの合宿受け入れなどが考えられ、高岡でできることを言っていきたい。また、子どもたちの都市間交流をしていきたい。市として協力や情報提供できることがあればやって

いきたい。

参加者

- 伏木勝興寺の修復が終わり、国宝級の寺になれば、高岡に国宝が2つとなる。同じ人口規模で国宝級の建物が2つあるところは他の地域にないため、大きなイベントを開くことも期待できることから、勝興寺の修復に力を入れてほしい。

市長

- 勝興寺は修復の過程で、新しい発見があるなどスケジュールが遅れがちとなっている。同時並行で周辺整備も行っており、庄川沿いは寺院建築がいくつかあるので、寺つながりツアーなども面白いのではないかな。
- 高岡のロケーションを活かし、高岡に荷物を置き、高岡を拠点にし、1日かけて飛騨方面や能登方面に行くことについては、業界としてはどう考えるか。

参加者

- これまで、高岡を拠点に各方面に行くという宣伝の仕方については行ったことがなかった。

市長

- 高岡を宿泊拠点にし、東西の他、南北に能登方面、飛騨方面に行くことができるという高岡の地理を活かしてPRしてはどうか。
- 宿泊には直接関係ないが、クルーズ船にとっては伏木港は、北陸の観光地のどこにでも行ける距離である。
- ホテルの設備としては難しい面はあるか。

参加者

- 外国人に対応するためにはツインルームが標準仕様という点が弱いが、値段との関わり合いもある。

市長

- 市としてどういう支援メニューをつくるかという相談をしていきたい。
- 宿泊業は、高岡の観光のベースを支えている業界であり、市としてもぜひ手伝っていきたい。

以上